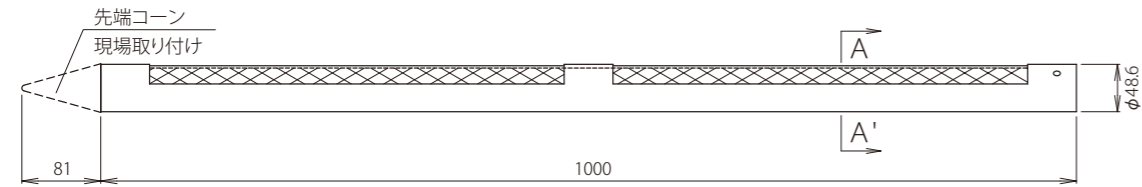
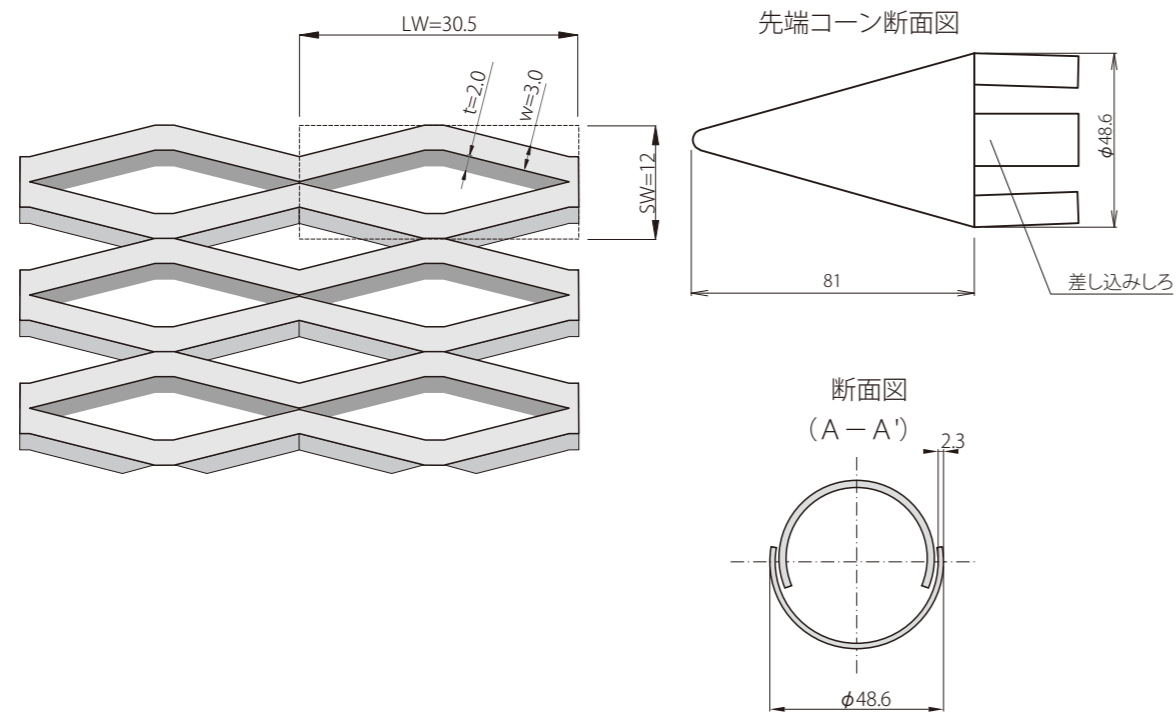
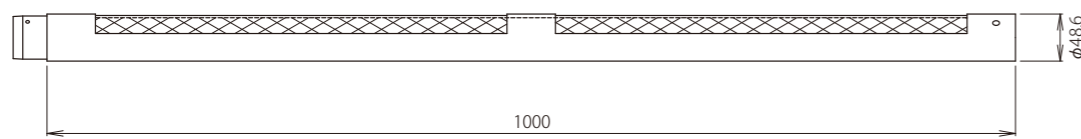


規格寸法

先端用 (HPS-1000)



ジョイント用 (HPJ-1000)



品番	品名	寸法(mm)	参考重量(kg)	略図	溶融亜鉛めっき
HPS-1000	ハーフパイプ先端用	φ48.6×1000	2.5		HDZT56 (HDZ-40)
HPJ-1000	ハーフパイプジョイント用	φ48.6×1000	2.5		HDZT56 (HDZ-40)

※商品は予告なく変更する場合があります。

販売元	製造元 フリー工業株式会社
	[建材部] 〒110-0015 東京都台東区東上野1-3-1 TEL:03-3831-1541 FAX:03-3831-0481 https://www.free-kogyo.co.jp

斜面の安定は排水が基本!

驚異の排水力

鋼製水抜き管「ハーフパイプ」



斜面の安定は排水が基本!

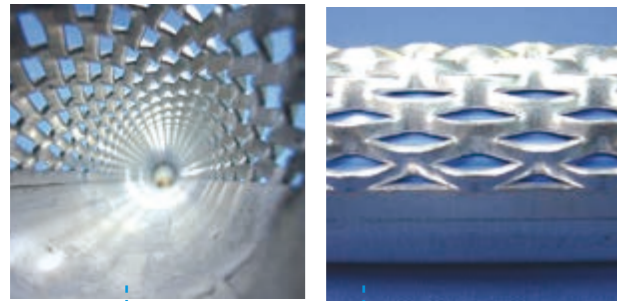
ハーフパイプ

降雨などによる「水」が地下に浸透して地下水が増加し、地盤内の間隙水圧が上昇して地滑りや斜面の崩壊を起こします。

「ハーフパイプ」(鋼管の上部をメッシュ状にし、集水率を大幅に高めた水抜き鋼管)は

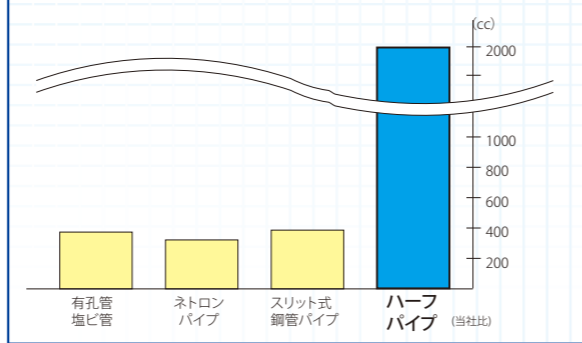
斜面に挿入し、地下水を排水して斜面崩壊防止を目的とした工法です。

驚異の排水力



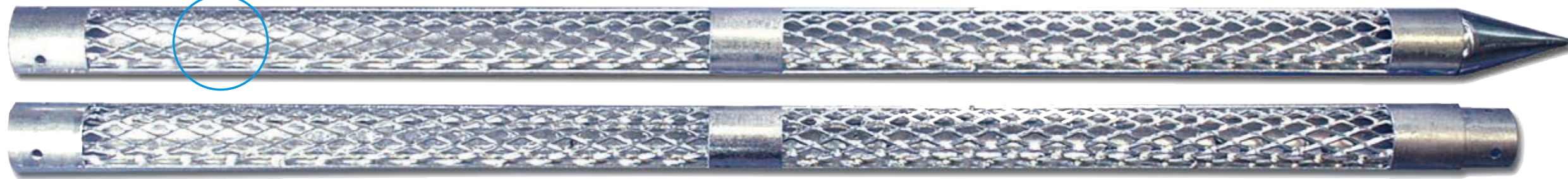
パイプ排水量の比較

(5000ccの真水を砂に流した場合)



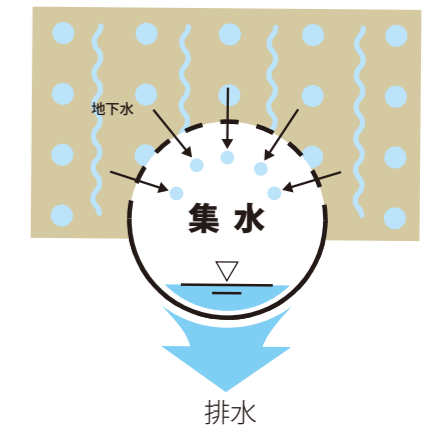
鋼管の半円部をエキスパンド加工

開口率(ブラインド加工部) 50.8%(1/2)



ハーフパイプの効果と特徴

- ◎ 斜面崩壊の原因である「水」を斜面から排水します。
間隙水圧が減少して斜面の安全性を高めます。
- ◎ 開口率が高いため、水脈に当たる確率もアップします。
無駄を減らす事でコスト削減につながります。
- ◎ ハーフパイプは集水率が高いため、より多くの「水」を排水
することで斜面の安全性を高めます。
盛土の地震時の液状化現象も軽減します。



ハーフパイプ施工例

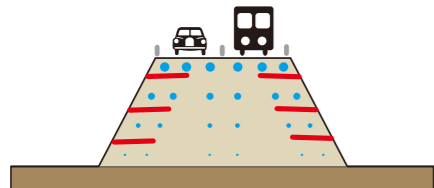
1. 盛土構造物の防災対策

盛土部では法尻・法肩で崩壊が起こり易いので、この部分を中心に打設する事により効果がある。

● 盛土構造物の場合1

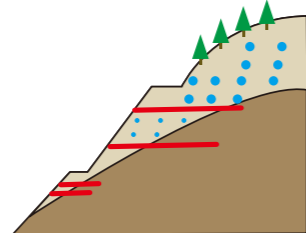


● 盛土構造物の場合2

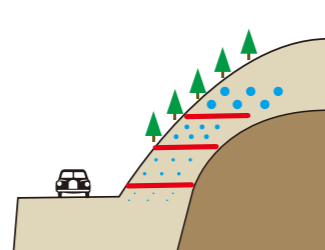


2. 切土法面での防災対策

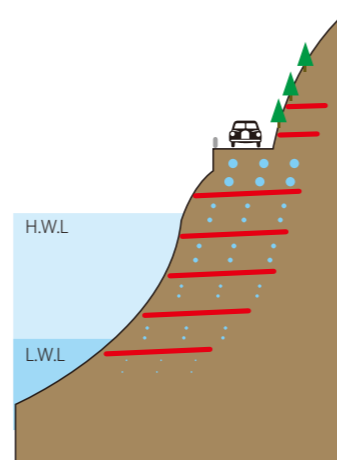
地層変わりへの打設及びプレボーリングによる孔挿入が効果的である。



3. 自然斜面での防災対策



4. ダムなどの湛水面での防災対策



ハーフパイプ設置について

1. 地山が柔らかい箇所へ直接打ち込みタイプ (N値5程度以下) 直接地山へ打ち込んでいく。
注) 転石、硬い地層に当たった場合には打撃挿入できなくなる事がある。
2. 地山が硬い箇所へ穿孔掘りタイプ (N値5程度以上) プレボーリングにより穿孔掘りをして、パイプを挿入する。
3. 既設構造物及び深層箇所へ ボーリングマシーンにより削孔後、パイプを挿入する。

